

京浜急行電鉄株式会社のPRオートメーション導入事例を公開

——レポートを中心とした業務省力化で、Web媒体の新規開拓をサポート——

広報PRのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するプラップノード株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：渡辺幸光、以下 プラップノード）は、京浜急行電鉄株式会社様のPRオートメーション導入についての事例記事を公開いたしました。



京急電鉄に代表される交通事業をはじめ、不動産、レジャー、流通など約45社ものグループ事業の情報発信を担う、京浜急行電鉄株式会社様は、従来、記者クラブを通じたテレビ、新聞媒体への広報活動が中心でしたが、昨年からはWeb媒体も注力し始めたことをきっかけに「PRオートメーション」を導入しました。

「PRオートメーション」導入でどのような影響があったのか？新しいメディアリレーションの構築と、レポートの省力化を目指す広報担当のお二人に、その活用法を伺いました。

詳細はこちら

年間約180件のリリース報告を省力化し、Web媒体開拓を推進。

https://pr-automation.jp/?post_type=case&p=3005

【会社概要】

プラップノード株式会社

設立：2020年3月2日

代表者：渡辺 幸光

資本金：2億円（資本準備金を含む）

事業内容：デジタルコミュニケーション領域におけるソリューション提供・PRオートメーションの開発販売

URL：<https://www.prapnode.co.jp/> <https://pr-automation.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

プラップノード株式会社 桃井・川畑

TEL：03-4570-3150 Mail：info@pr-automation.jp